

図書館へ行こう！

☆問い合わせ先

西栗倉村教育委員会内図書係まで
TEL 0868-79-2216

新年あけましておめでとうございます。

2006年もアツという間に過ぎてしまいました。思い起こせば昨年は前年末からの豪雪の中での幕開けでした。ホリエモンや耐震偽装、いじめに殺人、暗い話が多かったなあ！としみじみ思います。

今年の干支は猪。猪突猛進ではいけないでしょうが、明るい方向へ力強く進んでいきたいものです。

というわけで、2007年最初のテーマは「イノシシ」です。



『まちがいイノシシ』
ジャン・リュック・
クードレイ／文
リプロポート



『棕鳩十のイノシシ物語』
棕 鳩十／作
理論社

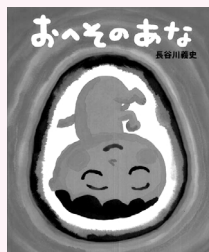


『やまのくじらとうみのいのしし』
むらのなつお／文
福武書店

『おへそのあな』

長谷川義史／作 B L 出版

お母さんのおなかの中の小さな赤ちゃん。お母さんのおへそのあなから何が見えるのかな？お兄ちゃんが、赤ちゃんにあげるロボットを作っているところ。お父さんが、赤ちゃんのために作曲しているところ。おいしいごはんのにおいや、いろんな人の声。風の音、鳥の声……。みんな赤ちゃんを心待ちにしているよ？しみじみとしあわせな気分になる絵本。



『温室デイズ』

瀬尾まいこ／著 角川書店

教室に紙飛行機が飛びはじめる。始まりの合図だ。もうすぐ崩れだす。でも、教師はまだ気づかない。日本の平和ボケは、学校の間でも存分に発揮されている。「今なら、なんとかなるはずだよ」私は祈るような気持ちで崩れていく学校を見ていた…。この温室のどこかに、出口はあるのだろうか。ふたりの少女が起こした、小さな優しい奇跡。ひりひりと痛くて、じんじんと心に沁みる。とびきりの青春小説。



児童書

今月のおすすめ新着本！

一般書

『金色の雲になったトラ』

つかごしつねじ／作 小峰書店

動物園のオリの前で、いつもトラとにらめっこしている少年サトルは、「虫歯」がきっかけで、トラの「ことば」がわかるようになった。サトルは、トラのグルールの大きな使命をしり、その手助けをしようと…。ファンタ爺さんが語る不思議な話の第一弾！



『風に舞いあがるビニールシート』

森絵都／著 文芸春秋

国連で難民事業に携わる里佳は、上司で元夫のエドがアフガンで死んだという知らせに立ち直れない。愛しぬくことも愛されぬくこともできなかった日々を、今日も思っている。大切な何かのために懸命に生きる人たちの、6つの物語。
第135回直木賞受賞作。



この他にもたくさん入ってます！ 新着本コーナーでご覧ください。

その他の新着本

タイトル	著者名	出版社
風に吹かれて豆腐屋ジョニー	伊藤 信吾／著	講談社
あなたはだあれ？	五味 太郎／作	絵本館
たべる	谷川 俊太郎／文	アートン
トキのキンちゃん	いもと ようこ／作・絵	岩崎書店
のはらのせんたくやさん	神沢 利子／作	ひかりのくに
パオちゃんのみんなでたいそう	ながわ みちこ／さく・え	P H P 研究所
しろくまさんはどこ？	ジャン・アレクサンドリーニ／文	ほるぷ出版
一瞬の風になれ 2・3	佐藤 多佳子／著者	講談社
カムイチェブ神の魚	小林 陽子／作	新日本出版社
コービー・フラッドのおかしな船旅	ポール・スチュワート／作	ポプラ社
ありふれた風景画	あさの あつこ／著	文芸春秋
狼花	大沢 在昌／著	光文社
ランデの星	鳴海 風／著	新人物往来社
イリアム	ダン・シモンズ／著	早川書房
ラビリンス 上・下	ケイト・モス／著	ソフトバンククリエイティブ
7ワンダーズ 上・下	マシュー・ライリー／著	早川書房

休館日

年始のお休み：1/1～1/4

定期休館日：祝日（1/8）、毎週水曜日、木曜日